

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社六匠	代表者	北村 拓人	法人・事業所の特徴	「一人ひとりの笑顔・思い・願いを大切に安心して暮らせる場所を地域で築きます」「継続的に支え合い助け合うことで、ささいなことや気持ちの変化を見逃さず、心に届くサービスを提供します」を理念としています。「ひもときシート」を活用し、職員全員で利用者の思いや暮らし方の希望、意向を把握できるように努力しています。
事業所名	時間の奏	管理者	藤田 保則		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	2人	人	1人	1人	人	2人	人	6人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・引き続き質問を分かりやすく改善する。 ・見学の機会を設ける。	質問の変更はしなかった。 見学の機会を特に設けることがなかった。	2回に1回くらいのペースで運営推進会議後に見学の機会を設けてみてはどうか。 自己評価との連動性がないので合わせるようにしてはどうか	2回に1回は運営推進会議後に施設見学の機会を設ける。 内容を簡潔にする。
B. 事業所のしつらえ・環境	積極的に、フロアに音楽を鳴らしてみる。	CDをかけてみたりなど、利用者の好みに合わせた音楽を流している。 地域の方にイベントのチラシ配りをしてはいるが実際に来る方はいない	普段の事業所を見ないと分からない。	普段の事業所を見ていただけるように運営推進会議の後などに見学の機会を設ける。
C. 事業所と地域のかかわり	地蔵盆やお祭りに参加できるよう、まずは、前回より1回でもいいので、自治会の方々と関わる。	5月に祭りを見学に行ったが、人が多すぎたり場所の問題などで今後の参加が難しい。地蔵盆には参加していない。	近所の方は時間の奏を認知している 地蔵盆に参加してはどうか 夏祭りに職場体験に来た生徒に参加してもらってはどうか この地域に行事が少ない	地蔵盆に一度参加してみる イベントに来てもらえないとしても近隣にチラシ配りをしたり挨拶を交わして一人でも多くの住民に認知してもらう
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	外部のサークルにも、積極的に参加する。	利用者の身体状況から、なかなか参加できる人がいなく、実現できなかった	この計画は難しいのではないかとボランティア来てもらうのを主にした方がよい	地域のボランティアにたくさん来て頂き、定期的に交流を図る。
E. 運営推進会議を活かした取組み	会議の内容を見やすい場所に掲示します。	ファイルに綴じていて見やすい場所に掲示できていなかった。 会議でいただいたご意見は運営に反映できるように事業所の会議で議題に上げることが出来た	取り組もうとしているのが見受けられる	運営推進会議の議事録に過去2ヶ月の行事やその他の取り組みなどを全て記載し、周知するようにする。 事業所の職員にも会議の内容が分かるよう、また、意見をもらえるように送りノートに議事録を掲示する。
F. 事業所の防災・災害対策	奏の避難訓練に、まずは、運営推進会議メンバーに参加していただくようにする	地域の方に避難訓練に参加して頂くことはできなかった。	防災計画は事業所ごとに作られる計画書をこの会議で提示してもらうようにする	運営推進会議の議事録の「地域交流」の項目に参加した行事をのせる